



パチカンが太陽光発電

ことし10月、パチカンのパウロ6世ホール屋上でソーラー(太陽電池)パネルを据え付ける作業員たち。パチカン初の太陽光発電システムは11月26日から稼働を始めた。(CNS)

の要因を抱えていたこと
を紹介している。
自営者の場合は「事業不振」↓「生活苦」↓「多重債務」↓「うつ病」↓「自殺」など。
被雇用者の場合は、
「うつ病」↓「自殺」など。
複数の要因が連鎖して「うつ病」↓「自殺」に至るケースは多い。しかし日本には専門家同士の連携がないため、精神科で、最後まで生きる意志があら

大阪梅田教会になったのは、大阪市内の北野、姫里、桜宮、福島、三国の五教会。「梅田ブロック」として共同宣教師牧を行ってきた小教区だ。梅田ブロックチームメーンバーの高島政行神父(大阪教区)によると、同地域の小教区数は多いが、信徒の減少や高齢化で、五教会が互いの共同体の協力をしに運営していくのは難しくなっていた。

改革のきっかけは二〇〇二年、市の区画整理事業に基づいて土地・建物を売却した三国教会。移転先が見つからずに聖堂設立を断念、信徒は北野教会に集う道を選んだ。これを受けて同ブロックは、池長司教が〇一年に発表した「ブロック化に関するメッセージ」などを基に新体制づくりを行うことを決定。研修の年、分かち合いの年、決

定の年、建築の年を経て完成の年に至る「五力年計画」を打ち出し、これに基づいて、ブロック評議会を中心に研修会やアンケート調査も行った。昨年は、大きな小教区が小さな小教区を吸収して力関係などが生じるのを防ぐため、五教会を全廃して一小教区を生み出す方針を固め、新教会は旧北野教会の場所に置くことを決めた。規約など

の統合準備を進め、今春には会計を二本化。委員会の在り方や外国人共同体への対応など、各小教区で異なる文化、需要をどう一致させるか、信徒間で課題も見えてきた。旧教会が名残惜しい人たちには「教会は場所ではない」と、共同体の意識を考えられるようブロックとして促してきた。旧北野教会の東條美知子さん(59)は、今は「これが神の旨」と語り、旧姫里教会の比企明英さん(73)は、反発する信

徒もいるが共同体と化した。一歩も、まず相対する方法を講ずる切だ」と強調。ブロックになってからの交流が深々にも参加し、実さん(24)は「名前がはげけれど、今だが、ブロックが月に一度るなど、一も感じると

5小教区閉じ 新教会設立

大阪教区 大阪梅田教会の挑戦

ことし四月、大阪教区池長潤大司教は大阪市の北地区にある五つの小教区を廃止、新しく「大阪梅田教会」(以下「新教会」)を設立した。しかし聖堂はまだなく、旧小教区の三聖堂に分かれて集う形での出発だった。それから八カ月。互いに「他教会の人」だった信徒たちが、課題を見つながら一致に向かっていく。新教会の聖堂は、教区施設や修道会も入居するビルを建設してその中に置く計画で、完成は二〇一一年。まったく新しい小教区づくりへの挑戦が始まっている。

ソロアスター教などの信徒で、外交官や官僚、教育界、法曹界、産業界の著名人たちが多かった。駐インド教皇庁大使のペドロ・ロペス・キンタナ大司教やキプロス、

式典を交際調査D・トール、交際たちは、宗教的暴力を「政府が

「切迫死」「困窮死」とい
う思いがしています」
地域別対策が重要
まず、自殺対策で重要
なことは、自殺の要因を
突き止め、地域別に対策
す」と十一月二十五日、
東部オリッサ州での反キ
リスト者暴力で死亡した
人々の追悼式典で、他宗
教指導者たちと共に祈っ
た。
「これは新たな動きで
約七十人の参列者たち